

# 高輪会会報

Reunion of Tokai University Takanawadai Senior High School



東海大学付属高輪台高等学校同窓会会報

発行所：東海大学付属高輪台高等学校同窓会

〒108-8587 東京都港区高輪2-2-16

Tel.03-3448-4011 Fax.03-3448-4020



Vol. 11

「高輪会」は、電気通信工業学校、電波工業学校、東海工業学校、東海高等学校・併設東海中学校、東海電波高等学校、東海大学高輪台高等学校、および東海大学付属高輪台高等学校の同窓会です。

題字は東海大学総長松前達郎先生

## 高輪会10周年・ 東海同窓会54周年を祝って



高輪会会長 土方 啓司

高輪会会員の皆様におかれましては益々ご健勝の御事とお慶び申し上げます。

高輪会は今年度 538 名の新会員を迎え、総勢 22,298 名の会員を有する会となつてまいりました。私共「高輪会」は、東海大学付属高輪台高等学校同窓会として 1995 年に再発足してから昨年で 10 年を迎えることができましたことは同窓生皆様のご支援の賜物と役員一同感謝致しております。高輪会 10 年の歴史は大きな意味を持ったものでありますと共に高輪会の原点は昭和 26 年に会則が制定された「東海同窓会」にあることは折に触れご紹介してまいりました。東海同窓会からは 54 年の歳月が経ち、高輪会・東海同窓会を総合して 10 月 22 日に東海大学校友会館にて「高輪会 10 周年（東海同窓会 54 周年）記念式典」を開催いたしました。記念式典には総勢 100 名を超える会員・教職員並びに来賓の方々にお集まりいただき盛大な式典を催すことができました。また、式典と平行して同窓生の目で見えた母校の歴史、同窓会の歴史を後世に伝えるべく「高輪会 10 周年（東海同窓会 54 周年）記念誌」を刊行し、式典に参加いただいた方々にお渡すことができました。式典及び記念誌刊行の作業を進めた中で多くの先輩・後輩同窓生と語らいの場を持つことができ「同窓会は一つ」の感を役員一同、強く持つことができました。このことによりまして「高輪会」も本年からは原点は「昭和 26 年発足の東海同窓会」にあることを意識付け「高輪会 55 周年、56 周年」と年輪を積み上げて行き 5 年後にはより盛大に高輪会 60 周年を祝いたいものと考えております。母校「高輪台高等学校」も

着々と進化を続けており来年 2007 年 4 月には新たに「高輪台高等学校中等部」が開校され、中高一貫教育校としての地位を築こうとしております。一方、部活動におきましても柔道部、吹奏楽部、ダンス部、物理化学部、美術部等々が全国大会或いは都大会で優秀な成績を収め、目指すところの文武両道も着実な成果をあげております。このように母校が充実し社会からの評価が益々高まって行くことは我々同窓生にとっても喜ばしく頼もしいことでもあります。本年は高輪会も「第二回屋形船懇親会」を企画しており、一人でも多くの会員及び先生方にお集まりいただきまして母校の充実振り或いは同窓生の社会での活躍振りを語らう中で高輪会と母校との絆を深めて行きたいものと願っておりますので奮ってのご参加をお誘いして、ご挨拶に代えさせていただきます。





# 「高輪会10周年記念・東海同窓会54周年記念式典」を開催して

高輪会10周年記念・東海同窓会54周年記念式典実行委員長 杉山 守男

「高輪会10周年記念および東海同窓会54周年記念式典」が平成17年10月22日、東海大学校友会館 富士の間にて盛大に行なわれました。

広村直行理事の司会進行にて土方会長の開会の挨拶、高輪会初代会長の上島様、高輪会名誉会長である杉校長先生のご挨拶、そしてご来賓の皆様方のご挨拶を頂きました。

引き続きまして、高輪台高等学校 吹奏楽部を交えての演奏会が披露されました。吹奏楽部のメンバーは、十数人編成で会場に併せていっそうの雰囲気をかもし出しました。

なつかしのメロディーの数々を演奏して頂き、すばらしい演奏に皆さん聞き入り会場は大いに盛り上がりました。

その後、懇親会に移り100名を超える出席者による懇親・



懇談の場となりました。多くの同窓生・恩師との再会に喜びの声が聞かれました。

又、記念として「高輪会10周年・東海同窓会54周年記念誌」を刊行いたしました。この記念誌には、同窓生からの提供による写真・資料より貴重な母校・同窓会の歴史等が納められている一冊となりました。記念として、出席者の皆様に配布いたしました。

同窓生による記念撮影、恩師との記念撮影などを交えながら昔話、現在の状況など話題は尽きることなく進行しました。最後に伊藤監査役の閉会の辞によりめでたく幕を閉じました。

今後、より多くの同窓生の力によって、同窓会が発展することを期待してここに報告させていただきます。



## 高輪会10周年 / 東海同窓会54周年 記念誌の紹介と希望者への配布

今般、高輪会10周年の記念事業として、記念誌を発刊しました。2005年10月22日の式典に参加戴いた皆様には、参加費の中から2,000円で配布させて頂きました。現在、100部限定で、2,000円にてご希望の方に配布いたします。ご希望の方は、同封の振込用紙で申し込みをお願い致します。

記念誌の概要は、以下の通りです。

1. ページ数：114 ページ
2. 装 丁：上質紙布引ハードカバー仕上げ
3. 内 容：
 

1、グラビアでみる同窓会の歴史	1 ~ 20
2、高輪会10周年記念によせて	21 ~ 24
3、祝辞	25 ~ 36
4、回顧録	37 ~ 72
5、高輪会会員座談会	73 ~ 88
6、高輪会10年の歩み	89 ~ 96
7、資料	97 ~ 114



高輪会10周年  
東海同窓会54周年 記念誌

# 高輪会 10周年 / 東海同窓会 54周年記念式典招待者・参加者 名簿

招待者 記念式典にご出席いただいたご来賓の方々を紹介いたします。(敬称略)

## 旧教職員

小檜山 馨 (恩 師)  
志村 義樹 (恩 師)  
清水 智明 (恩 師)  
鈴木不二也 (恩 師)  
斉藤 博 (恩 師)  
池淵 元 (元副校長)  
藤原 広司 (恩 師)  
大久保裕弘 (元実験助手)

## 後援会および同窓会関係者

竹中 輝夫 (高輪台高等学校後援会会長)  
森 八一 (高輪台高等学校部活動後援会会長)  
下倉 良次 (望星高等学校同窓会会長)  
漆谷 憲康 (望星高等学校同窓会副会長)  
伊藤賢次郎 (浦安高等学校同窓会元会長)  
東海大学付属相模同窓会  
中井 暉 (元湘南校舎校友課参事)  
長田 成信 (東海大学同窓会東京ブロック新都心支部長)  
中村 昭夫 (東海大学同窓会東京ブロック新都心副支部長)  
椿田 卓士 (東海教育研究所研究員)

## 現教職員

杉 一郎 (学校長)  
片桐知己治 (副校長)  
高橋 幸夫 (先 生 S46 卒)  
高橋 昇 (先 生 S55 卒)  
宮島 孝一 (先 生 H9 卒)  
田辺 統久 (先 生 H10 卒)  
鶴岡 薫 (先 生 H13 卒)  
神山 孝夫 (高輪台高等学校事務長)

## 会 員 (敬称略)

上島 弘安 (S25 卒)	水間 達 (S35 卒)	鈴木 正明 (S40 卒)
木俣 重隆 (S25 卒)	山中 邦裕 (S35 卒)	酒井 幸治 (S40 卒)
熊沢 勇 (S25 卒)	細谷 昭彦 (S36 卒)	大塚 静雄 (S41 卒)
村田 達夫 (S25 卒)	吉田 輝彦 (S36 卒)	後藤 有三 (S42 卒)
中西 實 (S25 卒)	藤尾 智 (S36 卒)	清水 精二 (S43 卒)
坂路 誠 (S26 卒)	長谷川 徹 (S36 卒)	松永 康三 (S43 卒)
井出 健一 (S26 卒)	横山 洋一 (S36 卒)	神谷 満 (S43 卒)
矢野 智司 (S26 卒)	土方 啓司 (S36 卒)	田中 寿治 (S44 卒)
吉岡 輝雄 (S26 卒)	胡屋兼一郎 (S36 卒)	岡本 信一 (S48 卒)
金子 兼司 (S26 卒)	丸山 和信 (S36 卒)	上杉 健一 (S50 卒)
吉田 申一 (S27 卒)	屋代 光博 (S36 卒)	恩田 朗男 (S51 卒)
田島 昇 (S27 卒)	小林 俊夫 (S37 卒)	広村 直行 (S52 卒)
小長井昭司 (S27 卒)	大塚 昭 (S37 卒)	中村 則之 (S54 卒)
伊藤 信雄 (S27 卒)	鈴木 征司 (S38 卒)	野崎 潤 (S58 卒)
松原 健次 (S32 卒)	木村 嘉量 (S38 卒)	小山 裕一 (S58 卒)
千代田 榮 (S33 卒)	内田 輝雄 (S38 卒)	塚本 昇 (S62 卒)
瀧尾 孝憲 (S34 卒)	北野 恒介 (S38 卒)	新井 孝幸 (S62 卒)
小島 邦男 (S35 卒)	五十嵐耕一 (S38 卒)	清水 文之 (S62 卒)
今西佐恵記 (S35 卒)	保谷 源吉 (S39 卒)	渡辺 隆介 (H14 卒)
島村 政男 (S35 卒)	佐藤 一石 (S40 卒)	野村 真弓 (H14 卒)
加瀬 宰 (S35 卒)	杉山 守男 (S40 卒)	大塚 純子 (H14 卒)
佐藤 毅 (S35 卒)	三浦 政彦 (S40 卒)	石川 安夫

## 第30回東海大学高等学校連合同窓会 記念式典の報告

連合同窓会 30 周年記念式典は、霞ヶ関ビルに在ります東海大学校友会館にて、2005 年 9 月 3 日（土）10 時から会長会議、そして 12 時から記念式典が開催されました。母校からは、池淵副校長先生（当時）高橋（幸）先生、高橋（昇）先生、鶴岡先生が出席され、同窓会からは、土方会長、上島相談役、松原相談役、本田監査役、伊藤監査役、大塚副会長、広村理事、志賀理事、池田理事、野村理事、三浦が出席しました。また、東海大学関係者、各高校及び同窓会からは、総数 300 名を超える参加を得て、盛大に催されました。

式典は、戸塚連合同窓会会長（相模高校）の挨拶から始まり、来賓として東海大学の松前紀男先生のご挨拶など、関係者の皆さんからご挨拶を賜り、盛況な中で、旧交を温めることが出来ました。また、30 周年を記念してバッチを作成し、参加者並びに各同窓会に配布されました。最後に、高輪会土方会長の閉会の辞で記念式典を終了しました。当日は、晴天に恵まれ、高層ビルから眺める景色は、式典を更に盛り上げるものとなりました。

また総会は、場所を箱根に移しての開催となりました。関係者はバスに分乗し、霞ヶ関から一路首都高速、東名高速を経て、箱根湯元のホテルに移動し、18 時から総会を開催し、議案は（会計報告および会計監査報告など）全て満場一致で承認されました。

翌日は、箱根で有名な関所跡や駅伝ミュージアムを見学しましたが、特に駅伝ミュージアムでは、館長さんが直々で説明をしていただくなど、往路優勝した東海大学の影響が大きいと思われました。展示物には、東海大学関係の品物は殆ど見られず、少々残念でしたが、今後の健闘に期待したいと思います。

帰路のバスでは、2005 年の箱根駅伝で往路優勝した東海大学のハイライトを、同窓生で文化放送アナウンサーの実況録音を聞きながら思いを新たに、ゴールでは思わず拍手が沸き起こるなど、楽しい車内でのひと時でした。最後に横浜中華街で昼食をとり、解散となりました。

終わりに、今回の総会幹事学校は、相模高校、望星高校、高輪台高校の三校が幹事校として同窓会役員が、2004 年 11 月から 30 周年記念式典と総会の準備を開始し、無事に終了させる事ができました。本稿をお借りして、関係各位のご協力に対し感謝申し上げます。



連合同窓会 30 周年  
記念バッチ



## 高輪会「第2回屋形船懇親会」開催のご案内

高輪会では、会のいっそうの発展を願い、また会員一同の親睦を深める意味も込め、「屋形船懇親会」を開催いたしたくご案内申し上げます。

前回「若人の集い」として屋形船での食事を催し、大変好評でありました。そこで、高輪会の活動の一環として、限られた年齢層に偏らず幅広い世代との交流を深めたく、多くの若い会員に積極的に参加して会を盛り上げて戴きたいと考えています。

皆様お誘い合わせのうえ、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

記

日 時：平成 18 年 9 月 16 日（土）午後 5 時 30 分現地集合

会 費：2,000 円

場 所：深川富士見

東京都江東区古石場 2・18・5

TEL：03・3641・0507

<連絡先>

東海大学附属高輪台高校同窓会分室（株山久プランニング内（伊藤）

TEL：03・3405・7283

FAX：03・5414・5414

E-mail:syamakyu@sepia.ocn.ne.jp

# 会費納入者一覧

納入者の2006年度以降の期限(下記年の8月31日)を西暦にて示す。(卒業年順)

(2006年5月16日現在)

各年度は9月1日に始まり8月31日迄とする。

工業	高橋 強	10		小林 道治	24		渡辺 一男	10		小出 信行	19	S 57	大城 正人	17
中学	須賀 隆司	07		市川 京子	08		高橋 弘志	14		星 俊一郎	14		亀井 哲郎	07
	寺門 道弘	09	S 34	岸本 康弘	19		平野 泰宏	19		上杉 健一	08		米森 弘行	08
S 25	木俣 重隆	07		高岩 正	14		三浦 政彦	07		岡本 吾朗	18		門馬 泰史	12
	平塚 慶治	09		橘 寿一	14		吉田 光雄	22		清水 恒二	09	S 58	佐久間 励	17
	井坂 暉夫	22		新井 信男	10		丸田 惟久	12		鷗沢 忠	09		勝又 泰平	12
	上倉 文彦	07	S 35	澤 利雄	09		田所 秀雄	07	S 51	坂本 俊一	07		田村 隆彦	09
	砂押 孝司	08		小林 正二	09		中村 道彦	14		西宮 弘之	08		河野千万樹	07
	木村 睦	09		佐藤 毅	19		中島 洋介	07		渡邊 博史	07		野崎 潤	10
	熊澤 勇	10		宮内 重幸	08		鈴木 正明	08		篠山 弘樹	07	S 59	小山 裕一	07
	谷口 正光	11		敦賀喜悦郎	17		武井 良友	10		武田 和也	10		東郷 康二	16
	中田順之助	12		島村 政男	10		杉田 憲司	08		福山 茂樹	10		藤原 光	07
	長門 新八	07		中島 勇	07	S 41	梅原 暉一	09	S 52	飯島 誠	07		楠本 隆	16
	夏目 芳郎	07		吹原 盛男	07		久松 博	14		直井 聡	07		三谷 誠治	12
	長谷川善治	12		加藤 宰	10		實 寿夫	09		水無瀬元一	09	S 60	藤巻 朗	07
	荻久保武雄	11		今西佐恵記	10		斎藤 信二	07		広村 直行	10	S 61	古賀 潤	10
S 26	早川 弘	14		小島 邦男	10		大塚 静雄	09		山下 晃	10		風間 勤	08
	原 道明	09	S 36	黒須 昇一	14		長井 信也	09		佐久間信次	08		鳥海 努	09
	本田 達雄	07		土方 啓司	17		松本 仁志	07		西山 博之	10		山里 翼	09
	村田 達夫	14		藤尾 智	12		大澤 晴雄	07		米津 等史	07		近藤 弘康	10
	鷹取 将夫	13		山關 弘	14		戸叶 幹男	10		田中 雅彦	10	S 62	魚地 博臣	07
	中島 秀夫	22		新井 俊雄	09	S 42	後藤 有三	09	S 53	谷口 元	07		光野 文雄	08
	石関 巖	07		吉田 輝彦	12		佐々木 洋	07		飯島 和弘	08		小島 圭市	12
	井出 健一	20		胡屋謙一郎	14		安田 信義	09		佐藤 正美	07		堀田 和貴	07
	上島 弘安	07		横山 洋一	19		栗田 隆	09		村石 匡規	07	S 63	棚瀬 元雄	07
	奥山 貞男	11	S 37	石塚 鵬	08		片山 文夫	10		長門 秀久	09	H 1	須賀 収	07
	加藤 慶男	18		小林 俊夫	09	S 43	田中 力	12		二村 文啓	12		嘉藤 慎也	07
	丸山 次郎	09		大塚 昭	09		平手 利幸	07	S 54	飯塚 正弘	14	H 2	風間 義徳	08
	木俣 博匡	14		海老沢正昭	17		嘉藤 元昭	07		徳永 尊彦	07		葛生 秀幸	07
	坂路 誠	17		飯田 道夫	07		石井 明	07		中村 則之	15		原田 剛	09
	清水 正三	17		上条 秀夫	10	S 44	谷井 明	22		時岡 淳	08	H 5	小島 淳	10
	楯山 清生	17		澤 健之	07		萩原 治生	17		近藤 光浩	07		岩崎勝一郎	22
	伊藤 勉	07	S 38	飯岡 英彦	09	S 45	渡辺 勤	07		井上 久裕	07		小林 健一	22
	栗田 富雄	09		鈴木 征司	08		石黒 孝夫	09		小林 裕	12		大井 淳	12
	戸谷 謙次	09		山中國南雄	09		本沢 守正	10	S 55	新井 一仁	14	H 6	北垣 博康	12
S 27	田島 昇	09		西嶋 正春	08		須田 福男	08		小池 英敏	07		平山 学	08
	小長井昭司	14		長谷川健美	09		永瀬 静夫	10		増子 忠広	07		根来 憲和	08
	田辺 英之	14		間下 幸幸	14		斎 茂	10		宇留間敦司	07	H 7	高橋 英希	07
	大島 巖	09		木村 嘉量	10	S 47	杉田 悟	07		高橋 昇	09		増島 広通	08
	松田 公治	21		北野 恒介	12		浅沼 英雄	07		横川 忠司	10	H 8	伊東 卓男	09
	伊藤 信雄	09		中村 義弘	07	S 48	鈴木 悦朗	07	S 56	菅野 博史	12	H 9	青木 孝平	14
	吉田 申一	09		灰田 宗孝	07		守田 晃	07		高津 康弘	08		中園 修一	07
S 32	谷越 安男	22		内田 輝雄	15		柴田 富雄	07		巴 誠一	12		高原 文彦	11
S 33	松本 仁志	10	S 39	加藤 仁	08		矢部 治郎	09		長瀬 立	12	H 10	清水 正芳	13
	大槻 善弘	08		松田 広志	08		岡本 信一	10		日比野晃久	07	H 11	村野 太郎	09
	吉岡 忠義	07		佐藤 泰夫	09	S 49	倭文 逸	07		藤池 真	07		村田 健児	10
	松原 健次	07		広瀬 亮	08		菊池 秀雄	08	S 50	小野 朋昭	10	H 12	熊澤 文久	11
	吉田 孝雄	08		保谷 源吉	10		松本 孝二	12		馬場 博規	12		徳田 和人	08
	千代田 栄	14	S 40	杉山 守男	08		石川 茂樹	09		落合 昭	07	H 14	渡辺 隆介	08

## 開かれた学校を 目指して

校長  
杉 一郎



今年も翌年の生徒募集のための学校説明見学会がスタートしました。今年の第一回説明見学会には、昨年度を上回る500名を超える中学生・保護者の方々に来校していただき、本校への期待を大きく感じました。秋の3回の説明見学会にはそれぞれ、昨年と同様に1,000名前後の方々が来校していただけたと思います。

高輪会の会報も、今回第11号となりますが、この10年間にいくつもの改革を本校は行って参りました。

ハードの面では、1998年の校舎建設に始まり、2002年に総合グラウンド開設、2004年には3階建ての総合グラウンド・クラブハウスが完成いたしました。総合グラウンドに関しましては、昨年度の野球場の整備(17mのネットフェンス、ナイター照明)に引き続き、今年度は第3期工事として、サッカー場のネットフェンス、テニスコートの夜間照明、人工芝コート等を計画しています。

ソフト面では、1996年の情報理科の募集停止、1998年男女共学募集開始、2000年には、生徒による授業評価アンケートを導入し、全授業を公開し、教員、保護者の方々に広く意見を取り入れ、授業改善に取り組んで参りました。2002年には、「教育改革キャラバン」を開催し、本校の教育を広く世間に公開し、新しい教育観に基づいた開かれた学校作り、大きな期待が寄せられました。更に2004年には、生徒・保護者・教員の授業評価アンケートの結果を基に、優れた授業を展開している教員に対して、ベストティーチャーとして後援会より表彰して頂きました。

また、昨年高輪会の設立10周年の時にもご紹介させていただきましたが、2004年4月に文部科学省から、東京都の私立学校としては唯一スーパーサイエンスハイスクール(SSH)に指定され、大学等の研究者との連携授業を展開し、最先端の科学技術に触れ、科学技術教育に重点を置く高校として、さまざまな活動を展開してまいりました。

さて、これからも、次々と学校改革に着手し、開かれた学校作りを進めて参ります。今後とも高輪会の皆様の暖かいご支援、ご鞭撻のもと、ますます本校を発展させていく所存でございますので、よろしくお願い申し上げます。

## 付属高輪台高等学校へ 赴任して

教頭  
吾妻 俊治



今年度の4月に、静岡市清水区にある付属翔洋中学校より赴任いたしました。翔洋中学校には2005年4月に千葉県市原市にある付属望洋高校から異動しましたので、翔洋中学校は1年間だけの勤務でした。静岡に異動した際には、富士山や三保の松原が眼前に広がり、『建学の歌』にある風情に感動いたしました。

声なく教う富士ヶ岳 海瀟叱咤す太平洋  
三保の松ヶ枝下にして 我等が母校ここにあり

高輪台に赴任すると、ここでは大都会東京の中心部にあり、校舎の上階からは東京タワーをはじめ東京の代表的な景観が見渡せます。

現在の高輪台高校校歌の1番には、

見よ遥かなる房総を 山の彼方に大洋を  
ここ高輪の一角に 高くそびゆるわが母校

とあります。また2番は、

ありし昔を今偲ぶ 赤穂の浪士眠るとこ  
その純潔の生涯に 学ぶわれらに力あり

近くには泉岳寺をはじめ、たくさんの寺院があります。幕末にイギリス公使館があった東禅寺(薩摩藩士襲撃事件の舞台)もあります。子供の頃、NHKの大河ドラマから歴史に興味を持ち、社会科の教員になってしまった私にとっては、小中学生時代に何度か訪れた町でもありました。このような歴史情緒が味わえる風情と、昔ながらと感じさせるような商店街がここ高輪台にはあります。お店のおばさんの人情味あふれる温かい声が、通りを歩く私たちや生徒達に向けていつも掛けられています。

私はこの学校に赴任して、都心の洗練さと伝統的な情緒を同時に味わうことができている。高輪台高校も、新しい授業改革を推進し、新校舎建設、男女共学、グラウンド獲得、中等部設置と新たな取組みを積極的にすすめてきたとともに、卒業生の皆様が築いてきた「高輪台の伝統」を幹として、学園をリードする学校として発展をとげてまいりました。今後も卒業生の皆様のご期待にこたえられる学校であり続けるよう、私も微力ながら努力していきたいと思っております。皆様の変わらぬご支援をお願いいたします。

## 新人先生紹介

### 関根 章文

やっと夢の教員になることが出来ました。中学生時代に初めて思い描いた夢が教員、初志貫徹の結果として誇らしく思っています。一時期は教職から離れ国内外を放浪したり多少の遠回りはしましたが、教育に役立つ多くの経験を積み重ねることが出来ました。その経験を基に魅力ある社会科授業を展開するとともに、生徒たちにも苦難に負けず努力することの素晴らしさを伝え、実ることの喜びを教えていきたいと思っています。



### 山田 武範

山田武範と申します。信州大学大学院を修了後、昨年度まで3年間本校で非常勤講師をしていました。今年度から専任教員として勤務しています。担当教科は理科、専門は生物です。

理科は身近な自然現象について説明する学問であり、私は、その楽しさ・面白さを生徒の皆さんに伝えたいと考えています。理科離れが問題視されていますが、一人でも多くの理科好きの生徒を送り出せる理科教師を目指しています。



### 高橋 光太

今年の4月より高輪台高校に転勤しました高橋光太です。教科は数学科で2年7組の担任をやらせていただいています。またクラブ活動は、相模中最高で12年間軟式野球の顧問をしていましたので、高輪台では「高校野球」という誰もが憧れる甲子園を目指して頑張っています。高輪台は教員の平均年齢も若く生徒もエネルギーに満ちていますので、私も負けまいよう早く新しい環境に慣れていきたいです。



### 野口 大輔

今年度は多くの学校行事で天候に恵まれませんでした。スポーツ大会や研修旅行、剛健旅行も十数年振りの中止となりまして、その度に新・再任者の中から両男・雨女探しが行われました。本命、デンマーク帰りのN先生は勿論のこと、本校を卒業したM先生、浦安から復帰のW先生らが疑われていましたが、私は上記全てに関わっておりました...

水不足など、ご用命の際はどうぞお申し付けくださいませ。未長く宜しくお願い申し上げます。



### 石井みなみ

母校である高輪台高校に赴任してから、3ヶ月が過ぎました。ここで生徒と共に生活をしていると、自然と高校時代を思い出します。何気ない一日、友達との会話、先生の言葉、がむしゃらに励んだ部活。高校時代に学んだ事が糧となり、今の自分がいるという事を改めて感じています。私がそうであったように、一人でも多くの生徒が後で振り返って楽しかったと思える学校、辛い時元気を買いに行きたくするような学校作りを目指したいです。



### 阿部 恵子

今年付属望洋高等学校から赴任してきました、英語科の阿部恵子と申します。東海大学の付属校での勤務は本校に3校目となりますが、このような機会に恵まれ、また新しい気持ちでスタートができたことを嬉しく思います。今年度は1学年を担当させていただいておりますが、場所が変われどもこの本質は変わらないことをまた改めて実感しております。元気いっぱい一年生と共に成長していきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。



### 工藤 優樹

4月から札幌にある第四高校から転勤してきました。高輪台の生徒は教師があれこれ指示しなくても、自分たちのことは自分たちでできることが得意で感心しています。さて私は前任校で知的財産教育を推進しようとしてきました。これは新たな知的財産を創造するという過程の中で、生徒が創造力やチャレンジ精神、起業家精神などを培っていくというものです。この高輪台高校で少しでも知財教育の実践ができればいいと考えています。



### 鶴岡 薫

私がここの高輪台高等学校を卒業して早5年。

多くの温かい先生に恵まれ充実した高校生活を送った私は、今度は支える立場・教師として高輪台の歴史を刻みたい！と強く思い目標に向かい邁進してきました。

『温故知新』をモットーに、高輪台の卒業生として伝統を大切にしつつも新しい試みに生徒と共にチャレンジして行きたいと思っています。笑顔を忘れずに日々精進していきますのでどうぞよろしくお願致します。



### 塚田 信哉

本年度より高輪台高校にて保健体育を教えることになりました塚田信哉(45歳)です。昨までは、約6年間にわたり学校教育の現場とは違う東海大学のスポーツ行政を担当し、学園スポーツ振興業務を行っていました。その中で、少年柔道教室や大学女子柔道部のコーチなど幅広いスポーツ活動を体験いたしました。また、今まではデンマーク校や中学校等での教員生活も経験し、これらの経験をこの高輪台高校で生かし、生徒とともに成長していきたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。



## 高輪会会員先生ご挨拶

### 高橋 幸夫

私が勤務した当時は男子校で工業科、東海電波高等学校と呼んでいました。学校名が変更され、現在に至っています。当時の実験・実習レポートは厳しく、大変だったことを懐かしく思っています。今は工業科で授業をされた先生方は定年退職され、工業科について知っておられる先生方も少なくなりました。私も卒業生ということで皆様にも少くもお役に立てればと思いき理事をやらせていただいています。今後ともよろしくお願いたします。



### 「先輩後輩」と「同僚」 高橋 昇

東海大学付属高輪台高等学校に赴任して早3年が経過し、それと同時に高輪会の仕事に携わらせていただいている。

その間、高輪会会員の数は確実に増加の一途をたどり、また、本来、裏方であるべき私たち教員(高輪台高校卒業生)も年々増加しており、誠にもって頼もしい集団になりつつある。

卒業生のなかに女性が存在する今日、高輪会も大いに華やかになり、新しい局面を迎えることになった。高輪会を優しく見守っていただけると幸甚である。



### 「高輪台高校」 宮島 孝一

平成9年に本校、平成13年に東海大学法学部を卒業し、母校である高輪台に赴任以来6年目を迎えます宮島孝一です。高校時代の思い出は「オンボロ校舎に1500人男ばかりの汗臭い学校」。現在は女子もいる、グラウンドで部活動ができる、高校時代に大学に通える・・・。夢のような環境です。

全く母校という感覚がないままあっという間に5年間、2回の卒業生を出した現在、野球部悲願の甲子園初出場を目指し、努力・歓喜・苦悩・忍耐の毎日です。



### 高輪会 吉川 博人

東海大学を卒業し、本校に勤めて6年目になりました。

今年度は、強化部活動のサッカー部の監督ということで5年間続けてきた担任も外れ、部活動中心の生活になっています。

担任を外れると知ったときは大きなショックを受けましたが、現在では外れたことをプラスに考え、部活動の生徒が思う存分活動できるようにと考え、教員生活を送っています。



## 中島先生・森先生ご挨拶

### 中島 洋介

2年振りに高輪台高校に帰任致しました。付属デンマーク校では、したがって2年間過ごしたことになります。付属デンマーク校は、自主自立・自己責任を基に生徒が活動をしており、特に、学校行事や部活動など目に見張るものがあります。また、他の付属と違って学校を取り巻く環境は素晴らしく恵まれたものと言えます。

ここでの体験は、すべてが貴重なものばかりでした。北欧の国でとても寒い国の一つがデンマークであるという認識でしか持っていませんでしたが、実際に体験してみると、その認識の違いが大きいものがありました。その一つに、デンマークは農業国ではなく、工業国であることでした。また数少ない世界有数の福祉国家であることなどでした。

これからも「高輪会」のために少しでもお役に立てれば強く思っております。どうぞよろしくお願い致します。



### 「高輪会への思い」 森 公法

通信制単位数制高校の望星高校から異動して参りました。7年前に研修として高輪台高校に参りましたが、やはり全日制高校である高輪台高校は、望星高校とは異なり、生徒の活動も非常に活発で勉強の毎日です。さて、私は、高輪会が活動を再開したときから役員として、活動のお手伝いをさせていただいておりますが、ここ2年ほどは、なかなか活動に参加できずにおりました。これからは、積極的に参加できる環境であるので、会を盛り上げていきたいとおもいます。



## 学校報告・部活紹介

### ・同窓会 サッカー部

サッカー部監督 吉川 博人

強化部活に指定されたサッカー部の目標はふたつあります。

ひとつは豊かな人間形成です。そのためにサッカーのみの指導ではなく普段の生活からしつけ教育に力を入れています。

もうひとつは高校サッカー選手権東京都予選ベスト4です。東京都予選は抽選でAブロックとBブロックに分れます。つまり、ベスト4とは決勝進出ということになります。もちろん決勝戦はテレビ放映もされます。サッカーのためにあらゆることを犠牲にしてきた生徒たちにとっては最高の舞台となるわけです。

このふたつの目標を達成すべく、本校サッカー部員 89 名は日々努力をしています。

現在のサッカー部の活動は基本的には月曜日がオフでそれ以外は放課後毎日練習し、土曜日と日曜日は練習試合を組んでいます。

活動場所は六郷土手、江戸川土手、ガス橋、葛西臨海球技場、天王洲サッカー場、大井第二球技場、駒沢第二球技場、駒沢補助競技場など様々な施設をお借りしています。また、これに加えて、さいたま新都心にある本校の総合グラウンドを使用しています。私は本校出身ですが、私の在学中には六郷土手とガス橋を使用していた程度で校内練習がほとんどでした。現在では学校から施設費を補助していただき、公共の施設を利用することが増えました。また、それに伴い練習量も増えてきました。ここ数年は練習量に加えて練習の質にもこだわり練習を行っています。

肝心の結果の方は東京都ベスト8の壁を破れずにいます。

昨年度は全国高校サッカー選手権東京都予選でベスト16の結果を残しました。選手権予選の試合は高校総体ベスト8

の国学院久我山高校に先制点を奪いながらも後半終了間際に逆転を許し1 - 2で敗れるという惜しい内容でした。

また、昨年度から(財)東京都サッカー協会主催のTリーグ(1部12チーム・2部20チーム)が始まりました。本校サッカー部は2部に当たるT2リーグに参加しました。T2リーグは上位3位までがT1リーグに自動昇格、下位4チームがT3リーグに自動降格という厳しい戦いが続くリーグ戦です。本校は予選リーグを1位で突破し、決勝リーグでも最終節を引き分ければ昇格、という条件までたどりついたにもかかわらず1 - 3で正則学園に敗れ、あと一步というところで昇格を逃しました。

今年度は関東大会予選兼新人戦を地区予選免除となり東京都大会から参加しました。1回戦は兄弟校の東海大学菅生高校に内容では圧倒されたものの、コーナーキックからの得点を守りきり1 - 0で勝利しました。2回戦は都立久留米高校と対戦しました。この試合はたくさんチャンスを作ったものの決めることができず1 - 2で敗れ、東京都ベスト16という結果で終わってしまいました。またしても東京都ベスト8に手が届きませんでした。

破れそうで破れない東京都ベスト8の壁。次の全国高校サッカー選手権東京都予選で6回目の挑戦になります。

本校のサッカー部は全国大会出場常連校のようにサッカー推薦があるわけではなく施設にも恵まれているわけではありません。しかし、そこで勝負を諦めるのではなく生徒の努力と教員の熱意で勝負したいと考えています。

来年度からは中等部もスタートします。中高6年間そして、大学4年間を加えた10年間で世界で通用する人間になるための人格形成を行いたいと思います。また、サッカーではチャンピオンを目指し、Jリーガーも輩出したいと考えています。





## ・柔道部

2006年度は、4月に新入生17名が新たに入部し部員40名で新スタートを致しました。

主将堤を中心に部員一同日々激しい練習に励んでいます。先日行なわれました、関東大会では2回戦で初優勝した埼玉栄高校に敗れてしまいましたが、終始白熱した試合をすることができたと思います。

今年の目標でしたベスト4にこまを進めることができず、選手には悔しさが残った大会だったと思います。この後、金鷲旗高校柔道大会等で結果を残せるよう頑張っていきたいと思ひます。

### 大会結果

第54回 関東高等学校柔道大会  
4年連続13回目出場 2回戦敗退



## ・女子バレーボール部

女子バレーボール部は2年生6名、1年生7名の計13名で活動しています。

活動内容は、月曜日は休養日とし火曜日はトレーニングルームでウエイトトレーニング、水～金曜日まではアリーナで練習を行い、土・日曜日は練習試合を通してチームのレベルアップを図っています。また、ボール練習の出来ない月・火曜日は全員で朝練をし、その他の曜日は生徒が自主的に朝練を行っています。大会では、日々の厳しい練習でものにした技術を発揮し勝つことはもちろん、バレーボールを通して人を思いやる気持ちや精神的な強さを育てています。バレーボールは、自分の調子が悪くても勝てることもあるし、自分の調子が良くてもチームが負けることもあります。なので、苦しい時にこそお互いが助け合い信頼関係を築き、自分のやるべきことを責任持ってやっているのが女子バレーボール部です。また、学校生活でも模範となる生徒であるように文武両道を目指しています。

昨年から女子バレーボール部は重点強化部に指定され、まだ実績はないものの、東京都ベスト16を目指し、日々厳しい練習を行なっています。



## 学校・同窓会行事(2006年8月～12月)

- 8月1日(火) 学園オリンピック(国語・数学・英語・造形・理科・知財)  
(7月31日(月)～8月5日(土))
- 6日(日) 学園オリンピック(スポーツ大会)(～8日(火))
- 14日(月) 教職員一斉休暇(～19日(土))
- 21日(月) 学園オリンピック(ディベート)(～26日(土))
- 26日(土) 東海カルチャー・セミナー
- 9月1日(金) 避難訓練・朝礼・授業開始
- 2日(土) 後援会委員総会
- 5日(火) 学園基礎学力総合試験・外部実力試験
- 7日(木) 3学年集会
- 15日(金) 中学校巡回
- 19日(火) 期末試験(～22日(金))
- 26日(火) 体育祭
- 30日(土) 保護者会
- 10月2日(月) 後期始業式・後期授業開始・中学校教員塾教員説明会
- 7日(土) 第42回建学祭(～8日(日))
- 11日(水) 2年保護者面談(～11月20日(月))
- 12日(木) 3学年集会
- 14日(土) 英語検定試験
- 15日(日) 第2回受験生・保護者学校説明会
- 26日(水) 1年学年集会
- 11月1日(水) 建学記念日(生徒休業日)
- 2日(木) 創立63周年建学記念式典
- 10日(金) 後援会湘南校舎見学研修会
- 11日(土) 第3回受験生・保護者学校説明会
- 16日(木) 生徒会立会演説会  
一斉公開授業(～17日(金))
- 18日(土) 1学年保護者会
- 25日(土) 3学年スポーツ大会
- 30日(木) 生徒による授業評価アンケート
- 12月2日(土) 後援会委員総会
- 4日(月) 中間試験(～7日(木))
- 10日(日) 第4回受験生・保護者学校説明会
- 15日(金) 入試相談
- 23日(土) 希望者講習(～28日(木))

## 2004 年度活動報告

2004 年度 収支決算書  
(2004 年 9 月 1 日 ~ 2005 年 8 月 31 日)

(単位: 円)

収支	科目	予算	決算	備考
入	前年度繰越金	5,190,153	5,190,153	
	1. 入会金	4,870,000	4,860,000	10,000 円 *486 名
	2. 維持会費	500,000	2,683,120	
	3. 懇親会費			
	4. 積立金			
	5. 積立金繰入			
	6. 預金利息		48	
	7. 雑収入		2,913	
	合計	10,560,153	12,763,234	
出	1. 会議費	180,000	510,036	役員会等費用
	2. 広報費	50,000	20,000	連合同窓会報費
	3. 渉外費	300,000	576,439	連合同窓会参加費等
	4. 印刷費	1,900,000	3,912,945	高輪会会報、10 周年記念誌
	5. 通信費	1,600,000	1,388,265	会報郵送料等
	6. 旅費交通費	150,000	190,280	連合同窓会等の交通費
	7. 事務用品費	50,000	210	一般事務用品
	8. 懇親会費	700,000		
	9. 記念品費	330,000	325,500	卒業記念品(証書ホルダー)
	10. 補助費	50,000		
	11. 慶弔費	30,000	35,750	
	12. 援助費	50,000		
	13. 積立金	3,500,000		
	14. 予備費			
	15. 雑費		11,436	
	次年度繰越金	1,670,153	5,765,373	
	合計	10,560,153	12,736,234	
積立金	前年度繰越			
	今年度繰出	0	0	
	今年度繰入	3,500,000	0	
	次年度繰越	3,500,000	0	
備考(会報掲載等)				

## お知らせ

会費納入のお願い

会員の皆様には、同窓会費 1 年分(2 千円) ~ 5 年分(1 万円の一括)の納入を受け付けております。

何年分が明記の上、郵便局備え付け、または同封の振込用紙をご利用下さい。

口座番号 00100 9 155498

口座名(加入者名) 高輪会

氏名欄には、必ず卒業年、組をご記入下さい。

尚、すでに納入済の節はご容赦下さい。

住所不明者の調査

会報の届かない方(住所不明者)がいらっしゃいましたら、情報(氏名、卒業年、等)を同窓会事務局までご連絡下さい。

ホームページ開設

高輪会のホームページが開設されています。

同窓会の皆様へ同窓会をもっと身近に、関心を持って戴く様に、様々な情報を発信していこうと思っておりますので、どうぞご覧になってください。

ホームページ <http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>

## 2005 年 ~ 2006 年度事業計画

(2005 年 9 月 1 日 ~ 2006 年 8 月 31 日)

2005 年 9 月	「高輪会会報 vol.10」発行
10 月	「高輪会 10 周年・東海同窓会 54 周年」 記念式典
	「高輪会 10 周年・東海同窓会 54 周年」 記念誌発行
11 月	
12 月	
2006 年 1 月	
2 月	高輪会入会式・新幹事「懇親会」 役員会
3 月	第 57 回「卒業証書授与式」参列
4 月	第 62 回「入学式」参列
5 月	
6 月	「第 31 回連合同窓会(福岡)」に出席
7 月	役員会
8 月	「高輪会会報 vol.11」発行

## 編集後記

昨年は、お蔭様で「高輪会 10 周年・東海同窓会 54 周年記念式典」を盛大に開催することができました。ありがとうございました。

今後ますます同窓会活動の活性化へ向け、皆様のご協力を戴きながら前進していきたいと思っております。

会報の紙面も充実させていきたいと思っておりますので、皆様からの情報をどんどんお寄せ下さい。事務局までお願い致します。

### 同窓会連絡先

高輪会(東海大学付属高輪台高等学校同窓会)事務局

〒108-8587 東京都港区高輪 2 2 16

TEL: 03 3448 4011 • FAX: 03 3448 4020

ホームページ <http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>

高輪台事務局分室 榊山久プランニング内(東海大学付属高輪台高等学校同窓会 伊藤信雄)

〒107 0062 東京都港区南青山 4 1 11 リライアンスビル 303

TEL: 03 3405 7283 • FAX: 03 5414 5414

E-mail: syamakyu@sepia.ocn.ne.jp